本資材は、取扱説明書の一部を抜粋したものです。 医師の処方および指示に従い、で使用前に取扱説明書をよく読み、 正しくお使いください。



# ハイサンソ ポータブル® α II をお使いになる方へ

今日から始める!

# 在电波表療法(HOT)

# 機器編 ハイサンソ ポータブル® 召Ⅲ



- 1 治療開始の準備
- (2) ハイサンソ ポータブル® αⅢの使い方
- ②-1 ACアダプター/DCアダプターを 使用する場合
- (2)-2 バッテリーを使用する場合

- (3) お手入れのしかた
- 4 故障かな?と思ったら
- (5) ご使用にあたっての注意点

# 1 治療開始の準備

# ● 本体の構成

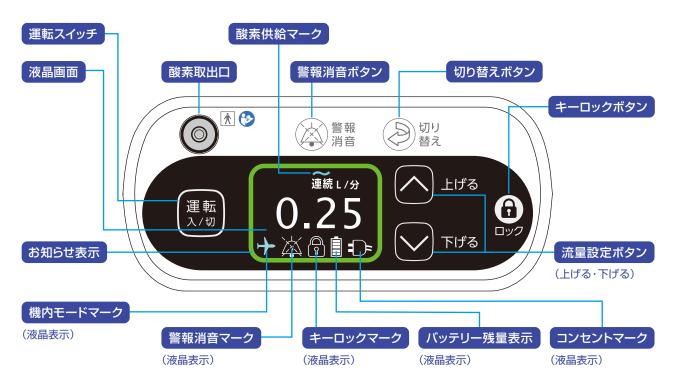
●本装置は、携帯型の酸素濃縮装置です。



# ● 必要な器具



# ● 操作パネル



\*記号の意味は下記の通りです。

|| (保護の程度が BF 形装着部であることを示します。装着部は、酸素取出口です。

❷: 取扱説明書に従って使用してください。

# 1 治療開始の準備

## ●電源の種類

● 使用できる電源は3種類あります。

AC電源	バッテリー(小/大*)	DC電源
家庭用のコンセントに 接続	本体に接続	自動車等のシガレット ライターソケットに接続
ACアダプター	*バッテリー(大)はオプション	DCアダプター(オプション)

# ● バッテリーの充電時間

満充電までの時間の目安

バッテリー(小) 約3時間 バッテリー(大) 約5時間

# ● バッテリーの充電方法

① 電源ソケットのキャップをめくり、 ACアダプターまたはDCアダプ ターのコネクタを接続します。



- ② 電源プラグを家庭用のコンセント(AC電源)に、またはシガレットライタープラグを自動車等のシガレットライターソケット (DC電源)に差し込みます。
- ③ 充電が開始されると液晶画面にコンセントマークとバッテリー残量が表示されます。



# **◉ バッテリー(小/大)の着脱**

#### <バッテリーの外し方>

① 本体を机などの平らなところに横にして置き、バッテリのラッチレバーを下に押し下げます。



② バッテリーを ← の方向に引き出します。

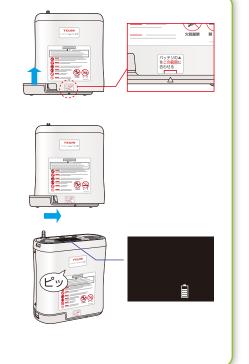


③ バッテリーの▲マークが本体シール の赤枠 【一】に一致したところで、下の方向に引き出します。



#### **<バッテリーの着け方>**

- ② → の方向にカチッと音がするまで バッテリーをスライドさせます。
- ③ 本体からピッと音が鳴り、液晶画面に バッテリーマークが表示されます。 (一定時間経過すると表示は自動で 消えます)



# 治療開始の準備

# がマテリー残量表示

- 切り替えボタンを押すと、液晶画面にバッテリー残量が表示さ れます。
- <運転中に残量を確認する場合>





### <運転停止中に残量を確認する場合>





□ は点灯(常時表示されている状態)、

は点滅 (表示されたり、消えたりしている状態) を表します。

#### 充電中

バッテリー残量表示の一部が緑色に点滅します。



#### 満充電

バッテリー残量表示が右図のようになります。



バッテリー残量表示に「!」が表示されます。 酸素は通常とおり吸入できます。



#### コンセント・シガレットライターに 接続しているとき (充電中)

#### どれだけ充電が進んでいるかを確認できます。

バッテリー残量表示 (液晶)	残量
	0~20%
	21~40%
	41~60%
	61~80%
	81~99%
	100% (満充電)
!	ー時的に 充電できない 状態です

# コンセント・シガレットライターに接続していないとき(非充電中)

#### 残りどれだけ使えるかの目安を確認できます。

バッテリー残量表示 (液晶)	残量
	運転不可
	5分未満
	20%以下
	21~40%
	41~60%
	61~80%
	81~100%

# ● バッテリーの使用時間の目安※

流量設定	連続0.25L/分	連続0.5L/分	同調1L/分 相当	同調1.5L/分 相当	同調2L/分 相当
バッテリー(小)	約2時間	約1時間30分	約2時間	約1時間40分	約1時間30分
バッテリー(大)	約4時間10分	約3時間10分	約4時間10分	約3時間30分	約3時間10分

<sup>※:</sup>新品・満充電時 消費電力個体差の範囲の中で平均的な機台の実力を記載(20℃環境における測定)。使用時間は、充電状態やバッテリーの 劣化度、使用環境温度またはオートデマンド機能動作状況によって異なります。

# 2 ハイサンソ ポータブル。 α 皿の使い方

# ● 2-1 ACアダプター/DCアダプターを使用する場合

# チェックポイント □ 本体にAC電源またはDC電源を接続することができますか? □ 運転を開始または停止することができますか?

□ 医師の処方に従って、流量を設定または変更することができますか?

□ 酸素を吸入した時に酸素供給マークが点灯または点滅することが 確認できますか?

#### (1) 電源の接続

① 電源ソケットのキャップをめくり、ACアダプターまたはDC アダプターのコネクタを接続します。

②〈AC電源〉電源プラグを家庭用のコンセントに差し込みます。 〈DC電源〉シガレットライタープラグをシガレットライター ソケットに差し込みます。

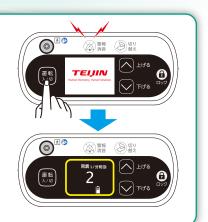
## (2) カニューラの接続

① カニューラを酸素取出口に 取り付けます。



## (3)運転の開始

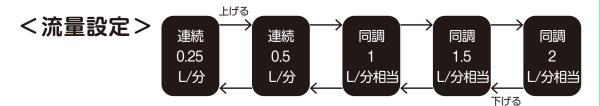
① 運転スイッチを0.5秒以上長押しして電源を入れます。「プープープー」とブザーが3回鳴った後、\*))「運転を開始します。 火の気がないことを確認してください」と音声メッセージが流れます。



② 流量設定ボタンを押して医師の処方流量に合わせます。設定が変更されると設定流量をお知らせする音声メッセージが流れます。



例) •)) 「同調 1.5 です」



【同調モード】と【連続モード】の2種類のモードがあります。 医師の指示に従って、モードを選択してください。

【同調モード】吸気を検知した時に酸素を供給。一定時間呼吸が検知されない場合は、 間欠的に所定量の酸素を供給。

【連続モード】呼吸に関係なく連続して酸素を供給。

③ カニューラを装着し、酸素吸入を開始します。

酸素が流れているときに液晶画面に酸素 供給マークが表示されます。

連続モード使用時:点灯表示

同調モード使用時:点滅表示

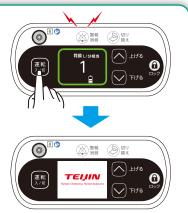


# 2 ハイサンソ ポータブル。α皿の使い方

#### (4)運転の停止

装着していたカニューラを外します。運転スイッチを0.5秒以上長押しして本装置を停止させます。停止の際に「プー」とブザーが鳴り、・))「運転を停止します」と音声メッセージが流れます。





# **②** -2 バッテリーを使用する場合

#### チェックポイント

- □ 電池の残量を確認することができますか?
- □ ご自身の処方流量での電池使用時間を確認できますか?

#### (1) 本体電池残量の確認

使用前に本体電池残量が十分残っていることを確認してください。(参照:P5)

バッテリーの残量が低下している場合は、ACアダプターまたは DCアダプターに接続してご使用ください。

(2)カニューラの接続および運転・停止のしかたは、 P7~9と同じ手順です。

# 3 お手入れのしかた

# ● お手入れ

#### チェックポイント

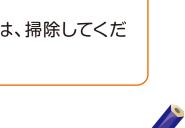
□ フィルタの清掃ができますか?

お手入れは、必ず本装置を停止して行ってください。

- 本体の操作パネルおよび外装ケースのホコリ等の汚れを取り除くときは、次のものを使用して軽くふき取ってください。
  - ・乾いた柔らかい布
  - ・よく水をしぼった布
  - ・家庭用の中性洗剤をつけたスポンジ
  - \*洗剤を使用した場合は水ぶきして洗剤が残らないようにしてください。
  - **1** i
    - 直接水や洗剤をつけないでください。
- ●しばらくご使用にならなかった本装置をご使用になるときは、使用前に本装置が正常に作動することを確認してください。
- ●バッテリーの満充電からの使用時間が「バッテリーの使用時間の目安 (P6)」に記載した使用時間の70%程度に劣化したら、「連絡先」に連絡し、バッテリーの交換を依頼してください。
- ●空気取入口のフィルタがホコリ等で汚れている場合は、掃除してください(外から掃除機等でホコリをとってください)。



MEMO



 	 	 	 	 	 	 :	 :	 	

# 4 故障かな?と思ったら

# ● 故障かなと思ったら・・・

# チェックポイント□ 異常時に取扱説明書を参照できますか?□ 緊急連絡先はわかりますか?□ 停電、故障時には酸素ボンベ等に切り替えることができますか?(酸素ボンベ等を処方されている方)

本装置に異常があった場合、警報のブザー音や音声メッセージでお知らせします。

(取扱説明書 P54~67参照)



- \*本体に異常が生じた場合は、酸素ボンベ等に切り替えた上で処置を行ってください。(酸素ボンベ等を処方されている方)
- \*処置を行っても解決しない場合は、本装置を停止して、装置に貼付している 連絡先または裏表紙の連絡先までお問い合わせください。
- \*警報のブザー音が作動したときに「警報消音ボタン」を押すと警報のブザー音を停止することができます。(警報によっては、安全のため、一定時間(約10分) 経過後に再度ブザー音・音声メッセージが作動します。)

# ● 主なアラーム

黄 ( は点灯 (常時表示されている状態) を表します。

赤 🂢 黄 💢 は点滅 (表示されたり、消えたりしている状態) を表します。

液晶画面とお知らせ表示	音声メッセージ	原因	処置		
プププ ププ 「EO2 同調 2 L/分相当 連絡先に電話して	連絡先に電話してください。	本装置内部の異常	●酸素ボンベ等の代替 酸素供給源に切り替え (酸素ボンベなどを処		
(エラーコード: E02、E03、E06、E10、E14)	装置の温度が上昇しています。連絡先に電話してください。	装置の温度が上昇し一時 的に機器が異常	方された方) ●「連絡先」に連絡		
プププ E18 連続 0.25L/分 チューブが	カニューラやチューブが 折れていないか、確認し てください。	長時間カニューラやチュー ブが折れ曲がっていたり、	カニューラやチューブの 折れ曲り、つぶれの確認		
がれていないか。 確認してください。 目: (エラーコード: E18、E15)	カニューラやチューブが 折れていないか、確認し てください。警報が続く 場合は、連絡先に電話し てください。	つぶれたままの状態に なっている			
E23 同調 2 L/分相当 カニューラを正しく 装着しているか 確認してください。 ・ エラーコード: E23)	_	一定時間呼吸を検知して	<ul><li>カニューラ等が本装置から外れていないか確認</li><li>カニューラやチューブの折れ曲り、つぶれの確認</li></ul>		
ププ E09 同調 2 L/分相当 カニューラを正しく 装着しているか 確認してください。	_	いない	●カニューラを正しく装着 ●鼻で呼吸 ※一定時間呼吸を検知 しない場合は、オート デマンド機能により 間欠的に酸素を供給 します		

# 4 故障かな?と思ったら

# ● 電源に関するアラーム

以下の場合は、直ちにACアダプター、DCアダプター、または予備のバッテリーに 正しく接続してください。

液晶画面とお知らせ表示	音声メッセージ	原因	処置
プーーー E13 同調 2 L/分相当 コンセントに接続または、 予備のバッテリーに交換 してください。	バッテリーの残量が無く なりました。コンセントに 接続または予備のバッテ リーに交換してください。	バッテリーの残量がない	
プププ E12 同調 2 L/分相当 連絡先に電話して ください。 (エラーコード: E12)	コンセントに接続して、 連絡先に電話してくださ い。	バッテリーが故障、また は著しく劣化している	●「連絡先」に連絡
ププ E19 同調 2 L/分相当コンセントに接続または、予備のパッテリーに交換してください。	バッテリーの残量が少な くなりました。 コンセント に接続または予備のバッ テリーに交換してくださ い。	<ul><li>バッテリーの残量が低下している</li><li>外部からの電源供給がない</li></ul>	●停電の場合等は、医師からの指示に従って、 酸素ボンベ等の代替酸素供給源に切り替え

MEMO	

# 5 ご使用にあたっての注意点

# ● ご使用にあたっての注意

ご使用前に取扱説明書(P4~20)をよくお読みください。



酸素は、それ自体は燃焼しませんが、 燃焼を助けるガス(支燃性ガス)です。 酸素吸入中は次のような発火源の周 囲2m以内に近づかないでください。

- ・高温の熱源
- ・スパークを発するおそれのある電気機器等
- ・裸火(タバコ、ライター、ストーブ、マッチ、 ロウソク、線香等)
- \*やけど、火災のおそれがあります。



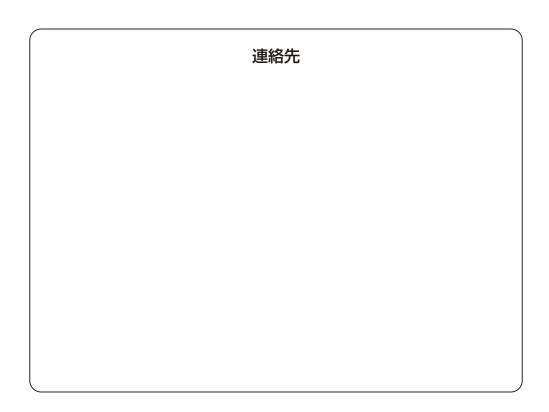
酸素吸入を行っているときは、本人はもちろん周りの人も禁煙を守ってください。

\*やけど、火災のおそれがあります。



落下、転倒させたり、物にぶつけたりして、強い衝撃を与えないでください。

\*故障や誤作動の原因となります。バッテリーに 強い衝撃を与えると破裂したり液漏れする ことがあります。



認証番号:304ADBZX00043000 製造販売業者:帝人ファーマ株式会社 販売名:ハイサンソ ポータブル Œ Ⅲ